



# 区民会議フォーラム開催

やっぱり、定年過ぎても  
夫は**元気**で留守がいい？



パートナーには、いつまでも元気でいてほしい。  
これからも外に出て“イキイキ”と活躍してほしい。  
今回のフォーラムでは、高齢者の社会参加について  
研究されている先生を招き、地域とのつながりの中で  
楽しく健康に暮らすためのヒントをお伝えします。

## 健康寿命を延ばすには？

**藤原佳典氏**

東京都健康長寿医療センター 研究所  
社会参加と地域保健研究チーム 研究部長

**2月21日(日)**

13時半～16時 **開場13時**

**麻生区役所4階第1会議室**

【ご来場は、公共の交通機関をご利用ください】

※手話通訳を希望される方は、2月15日までに事務局へ御連絡ください



# 区民会議では、2つの部会で審議テーマの解決を図るため、更に審議を深めています。

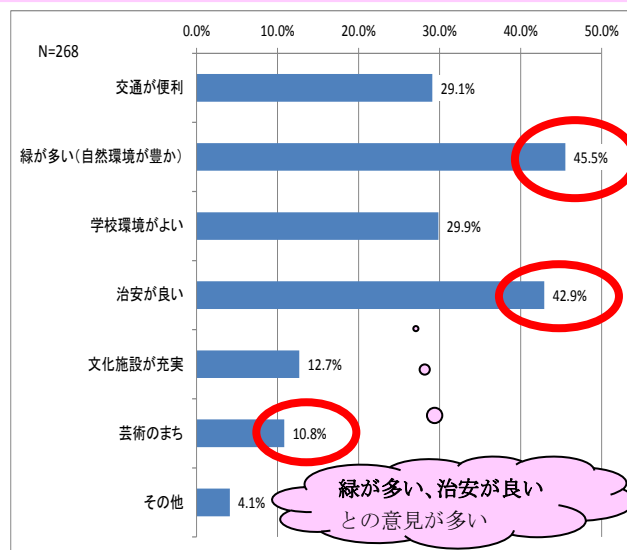
## ■若い世代が住みやすいまちづくり部会

### 審議テーマ「麻生区の魅力のブランド化とPR」

子育て世代と若い世代の感じる魅力についてアンケート・ヒアリング結果を踏まえて、審議しています。

<主な委員意見>

- 「緑が多い」や、「治安が良い」などの内容の裏付けとなるデータを把握する必要がある。
- 想定していたよりも、麻生区に魅力を感じていることがわかった。さらにどこをよくしていけばよいのか検討が必要。
- 「芸術のまち」について、若い人には、なかなか浸透していない。若い人が芸術に触れることができる機会を増やしていく必要がある。
- アルテリッカやアートセンターがあるが、市の事業や施設のため、麻生区のHPの中には含まれていない。芸術のまち麻生のPRが足りていない。



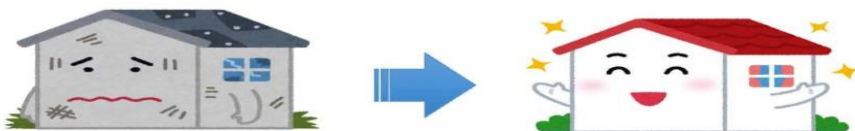
子育て世代を呼び込むために、麻生区の魅力の中で何をPRしたらよいか?に対するアンケート結果

### 審議テーマ「空き家の利活用」

不動産団体との意見交換、大学へのヒアリング結果を踏まえて審議しています。

<主な委員意見>

- シェアハウスについての学生のアンケート結果では、179人の回答のうち71人がシェアハウスをしてみたいと回答している。地元の理解や協力があり、区の支援があれば可能ではないか。



## ■市民活動・地域活動の活性化部会

### 審議テーマ「ボランティアの活動促進」

昨年10月に開催された「健康づくりのつどい」において、「健康寿命を延ばす」をキーワードに127人の区民の皆様から、ボランティア活動に関する意見を集め、分析しています。ボランティアを始めるきっかけは、「友人・知人に誘われて参加した」、気軽に参加できるようにするためには、「効果的な情報発信」や「背中を押す仕組み」が必要との意見が多く集まりました。



<主な委員意見>

- ボランティア団体などが出している情報が、受け手の区民に伝わっていない。血管にコレステロールがたまり、血の流れが悪いイメージ。詰まりの解消が必要。
- 単にボランティアの講演会や養成講座をやるだけでは十分でない。身近な人の誘いから参加に繋げる道筋と、受講後のフォローも考える必要がある。
- ボランティアに参加するきっかけは「友人・知人に誘われて参加した」が有効ということで話が進んでいるが、地域の中に知人が多い女性の話ではないか。男性と女性では背中を押す方が違うのではないか。
- 活動団体とボランティアをしたい人を横につなぐ、連携という点では、地域コーディネーターという役割が必要。また、ボランティアを必要としている団体に助言する体制も必要。



審議テーマについてのご意見・ご提案・ご要望をお寄せいただきますよう、お願い致します。

区民会議事務局 [麻生区役所企画課] 〒215-8570 川崎市麻生区万福寺 1-5-1

電話 : 044-965-5112 FAX : 044-965-5200 Eメール : 73kikaku@city.kawasaki.jp